

第2次匠瑛市総合計画策定に係る市民懇談会（団体対象） 結果概要

- 開催日時 平成30年11月26日（月） 19時00分～20時30分
- 場 所 匠瑛市役所 2階議会棟第2委員会室
- 参加者 田邊久利(匠瑛市みどり平工業団地連絡協議会会長)、川口泰弘(匠瑛市PTA連絡協議会副会長)、鎌形春枝(匠瑛市保健推進員会会長)、伊藤敏子(匠瑛市母子寡婦福祉会会長)、林幸子(NPO法人WITH理事長)、山崎優子(匠瑛市手をつなぐ育成会理事長)、小川総一郎(商工会青年部部長)、片岡拓実(JAちばみどり青年部そうさ支部八日市場地区支部支部長)、角田洋子(JAちばみどり女性部そうさ支部八日市場地区支部支部長)、川村芳枝(JAちばみどり女性部そうさ支部三栄地区支部支部長)、並木富子(交通安全協会婦人部部長)
- 市出席者 太田安規市長、大木寛幸企画課長、大木進一秘書課長、林雅之企画課室長、畔蒜稔行秘書課副主幹、江波戸英樹企画課主査、小林直己企画課主査

発言者	内 容
W I T H	<p>1. 開 会</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 自己紹介</p> <p>4. 意見交換</p> <p>(1) テーマ1 匠瑛市の理想の将来像について。 今後、匠瑛市がどんなまちであって欲しいとお考えですか。</p> <p>(2) テーマ2 テーマ1のまちになるために必要なこと。</p> <p>《参加者からの質問・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある子を放課後預かる事業を実施している団体である。放課後預かっている子どもは、特別支援学校に通っていて、ちょっとできるけど一般就労ができない子どもがいる。できそうな仕事をマッチングしてもらったり、障害者が自分で生活費を稼げるようになると温かいまちだなと思ってもらえるのでは。理想はそういう風になって欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ JAでの取組やできそうなことなどあれば発言願いたい。
JA女性部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校へ行き、食育に取り組んでいる。子どもたちにさつまいもなど地元で採れたものを提供し、色々な手伝いをしているが、子どもが少ないように感じる。
八日市場	
JA青年部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害を持った人の支援の話が出たが、実際自分も障害を持った家族がいたので金銭的な部分も含めて苦労した。

J A女性部 八日市場	<p>市役所で相談に乗ってもらえたことは心強く、良い意見や情報を得ることができたが、もう少し早く市役所など助けてもらえる場を知っていれば、生活しやすくなったのかなと思う。情報量(網)が少ないと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 気管支切開をした子どもの話だが、旭市のこひつじ子ども園で受け入れてもらえたので現在通えている。匝瑳市にある、あかしあこども園に入園できると思いき楽しみにしていたが、看護師が配置できなくて入園できなかった。卒園後、小学校という大事な過程がある。そういう子どもたちがいる家庭は、早くから教育委員会に相談することが大事なようだ。私も知らないことがたくさんあるが、障害児のおかげで障害に対する世の中の体制を知ることができている。
W I T H 市長	<p>旭中央病院では周産期母子医療センターがある。匝瑳市にもたくさんでなくてもよいので、そういった体制を整えて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特別支援学校では看護師が配置されているが、普通の学校では難しい。痰の吸引は家族や看護師しかできないので、学力的な能力が劣っておらず、その処置のみを要する子どもは、看護師の予算を取ってもらえたら普通の学校に通えるのではないかなと思う。世の中、色々な子どもがいるんだなということを偏見だけではなくわかって欲しい。
手をつなぐ育成会	<ul style="list-style-type: none"> • 福祉はもちろんだが、協働のまちということで市民と一緒に力を合わせて頑張っていく。
保健推進 委員会	<ul style="list-style-type: none"> • 手をつなぐ育成会は、八日市場第二中学校の近くにある匝瑳市就労支援事業所ほほえみ園の指定管理者をしている。ほほえみ園では、障害により就労が困難な人に対する就労支援や生活指導などの支援をしている。利用者の平均年齢は、40歳近くで再来年卒業する人が1人いる。色々なことをさせて、利用者の能力を少しでも高めていけたらと思っている。そのことによって、お給料を貰えるようになると良いと思う。
W I T H 事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 事業案内のチラシを配ったらどうか。もし、家族内にそういうお子さんができた場合、そういう支援があるということが分かって良いのでは。
みどり平 工業団地	<ul style="list-style-type: none"> • 匝瑳市に障害者自立支援協議会があり、発達障害のパンフレットを学校に通っているお子さんの全家庭に配るということを毎年している。それがきっかけで相談に行ったり、幼稚園の先生や福祉課も目を光らせている。配っているので気になっている人は見ていると思う。 • 市からの情報発信や提供が少ないと言われるが、どういう形で情報発信すると皆様の目に留まるかなど考えながら進めていきたい。 • 匝瑳市は情報の開示の仕方が上手ではない。工業団地でもそうだが、隣の人が何をしているのか知らなかったりする。「工業団地を知っているか」の問いに対して「知らない」と返ってくる。そこでまずは、知ってもらおうということから始めようということで、今年で3年目になるが子どもに職業体験をしてもらおう、「さんさんフェスタ」というイベントにブースを出させてもらっている。匝瑳市から始まって旭市・銚子市で、また来年戻ってくる。工業団地にある27社の仕事内

容を周知するようにしている。

工業団地なので、「安心安全に暮らせるまち」の中でいえば安心して働いてもらう、産業振興は当然重要なテーマである。工業団地の中では、世界進出している会社もある。情報発信する能力が低いこともあり、今日初めてそのことを知る方もいらっしゃると思う。

そして、地元の会社は地元の子に就職して欲しいという思いがある。工業高校との意見交換会を行い、匝瑳市在住の生徒に会社を紹介している。ミスマッチが怖い。就職しても自分のイメージと違うということで辞めてしまうというのは残念なので、会社の仕事内容をよく知ってもらいたいことから工場見学も実施している。意見交換会も実施しており、生徒と年齢の近い若手社員が参加して話をしてもらう。実際に参加してくれた生徒が就職するという嬉しい結果が出ている。

今年度は、工業系以外の生徒も参加し、旭市と銚子市と合同で意見交換会を実施する。

工業団地における仕事の状況は、2020年に向けて比較的、好調な企業が多いが、人手が足りない。人手が足りない時に、報道でもよく言われるのが高齢者・女性・外国人・障害者の方。自分の所属する会社では、ハローワークの協力を得ながら支援学校の職業体験を行っている。それをきっかけに来春には一般従業員として知的障害者の方2人を採用する予定。身体障害者の方は、工場という部類で働くのは難しいが、現在はパソコンだけでかなりの仕事ができるということもあり、体が動かなくても目が動くだけでパソコンの操作ができる技術がある。体が動かなくても稼げる手法は増えてきているが千葉県この辺りの地区にはないが、市でもそうした情報を収集し、広めてもらえればと思う。

高齢者に関しては、匝瑳市シルバー人材センターと連携していて、延べ10人ほど来てもらっており、私の会社の現役で一番年齢が高い方は80歳。仕事内容は決まっているが、やれることやれないことを分かってもらって、受け入れ体験などできればと思っている。

やはり、情報の提供は大事だと思う。提供の媒体は紙だけではなく、電子化して提供することを考えるのはどうだろうか。紙で配ることも大切だが、紙だけではなく別の媒体で行うことが周知を助けることになるのでは。それを見るか見ないかということもあるが。例えば、スーパーの協力を得て袋詰めにする前にチラシを配ってもらうなどやり方は色々ある。みんなで知恵を出し合っていくことが市民参加ということ。そういう意味でも皆さんから御意見を頂いた方が良くはないかなと思う。

また、企業は来年度から働き方改革で中小を含めて対応が大変になる。来年4月からは、有休を5日取らせなければいけない。人手不足で、なお休みを取るとなるとやりくりが大変になるので、高齢者などお願いしていかなければならなくなるのではないかな。

就業者にひとり親という方もいる。学校などから連絡があるなど何かあった場

	<p>合は、余程のことがない限り、早退を認めるようにしている。なるべくお互いを理解するように心がけている。できる限りひとり親の方も安心して働けるような環境づくりを行っている。女性のひとり親よりも男性のひとり親の方が大変な印象。中でも父親と娘の家庭が大変で小中学校にあがるタイミングの子育てが難しいとの声がある。相談相手がいないため、会社としてもできるだけサポートしている。大きい企業だとサポート体制があるが、中小企業だとその辺りがない部分もあるので、公的サポートが今後必要だと感じる。</p> <p>まちづくりにおいて、医療という点も大切だと考える。働きやすいためには子どもを育てるだけではなく、介護も必要。そういうところでも働き続けられる仕組みが望まれるのではないかと。意見としては幅広くなったが、こういうことに取り組んでいる。</p>
市長	<ul style="list-style-type: none"> 行政は情報伝達をしっかりと、上手に行うようにとの意見を頂いたが、議会でも市民に対して情報が広く行き渡るようにと言われている。市もホームページや広報など、「見てもらいたい」という気持ちで作成している。ホームページもリニューアルしているところ。本日は、担当が出席しているので、広報についての取り組みや姿勢を説明するので、意見をいただければと思う。気軽に相談してもらえればと思う。
秘書課長	<ul style="list-style-type: none"> 広報・広聴の立場から「広報そうさ」あるいはホームページにおいて情報発信を担っている。先ほどから情報発信が下手だという意見を頂戴しており、庁内で頑張っていかなければならないと思っている。市長から話があったとおり、現在ホームページのリニューアルを進めているところである。今のホームページは、パソコンのみでスマホ対応できておらず、時代遅れになっているので、スマホやタブレットに対応できるように、また、使いやすいように、情報が分かりやすいようにリニューアルを進めているところである。来年の3月末を目途に切り替える予定。リニューアルしたことで市民に見てもらえるようになるかは、内容次第といったところもあると思う。また、福祉の分野においても足りないところがあると、意見を頂いているので、その辺りも情報発信できるよう努めていきたい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 市でも情報発信の改善を行っているが、足りない所があるかと思うので意見を頂ければありがたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 会議冒頭でマッチングの話に始まり、障害のある方の自立や工業団地の活動内容や実情などお話いただいたが、今日初めて聞いたという方も多と思う。この会議で顔を合わせたことをきっかけに顔馴染みになり、それぞれの団体の皆さんが情報交換を今後も続けてもらえることがマッチングにも繋がるきっかけになるのではないかと。思う。 <p>次に、自立をして働き続ける仕組みの重要性については、人口減少が進んでいる中、子どもが少ないという話があった。みどり平工業団地連絡協議会から、「さんさんフェスタ」の話があったが、来年度は匝瑳市が会場になる。主会場は、そうさ記念公園になる予定で6月8日実施に向け計画を進めている。地域の人口減</p>

<p>P T A連 絡協議会</p>	<p>少をどうにかしたいという思いから取り組みが始まり、子どもたちに地域に残ってもらいたい、そのためには地域にこんな仕事があることを子どもはもちろん、子どもたちに大きな影響力がある親御さんにも知ってもらいたいということから、たくさんの企業、商店、行政、各種団体などが、自らの活動の状況を説明するブースを出すというイベントになっている。本日もたくさんの団体の皆さんに参加してもらっているが、イベントに参加したいという気持ちが少しでもあれば声をかけて欲しい。調整させていただく。開催市でもあるので、匝瑳市の団体や企業に多く集まってもらいたい。他の自治体からも参加するので、そちらに対しても情報を発信していきたいと考えているので御協力を頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報共有の件に関して、先ほどもスマホのことが出ているが、例えば、小学校では台風で学校が休校になるなどの情報はメールで配信されていて、親御さんも必ず見ている。そういう風に情報を共有できることは素晴らしいことだと思っている。学校関係だけではなく、市の行事などの情報発信もそういう仕組みができたら良いと思う。
<p>市長 P T A連 絡協議会 交通安全協 会婦人部 手をつな ぐ育成会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ メールでの情報共有は、100%なのか。 ・ 自分の子どもの学年での情報共有は、100%だと思う。例えば、インフルエンザで休校とか猪が出没したなどそういう情報も流れる。 ・ スマホが操作できない人に対しては、広報そうさなどで情報を流してもらいたい。 ・ 外国人労働者は、匝瑳市にはどの位いるのか。自分が勤務している病院の理事長が中国人を援助してあげようという奉仕の精神で看護師の資格を持った方を雇用しているが、日本語が通じないため、患者と中国人看護師の間に日本人の従業員が入っている状態で、こちらとしては忙しいのにと思うところもある。客商売のところではトラブルがあったりするのではと思うのだが。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 匝瑳市に住んでいる外国人は400人ほどだが、就業している人が何人いるかは把握していない状況。もう少しすれば、外国人雇用についての政府の方針も決まるはずである。閉校した小学校の利活用として、外国人に対する日本語学校を開校して、日本語を学んでもらい、就職できるようにするといった事業を展開する企業からの問い合わせがある。
<p>保健推進 員会 市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の住んでいる近くで就労している中国人は、日本語が流暢な人がいるが、話を聞いてみたところ、ある程度母国で勉強してから来日しているとのこと。 ・ 外国人の日本での就労は、ある程度日本語の基礎ができていないと難しいのかもしれない。
<p>J A女性部 八日市場 市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体でいると日本語を覚える必要がないから、日本語の習得が難しいのかもしれない。仲間がいると仲間と話してしまう。 ・ 外国人の雇用ということで、近い将来たくさん来日すると予想される。匝瑳市も対応できるようにする。
<p>W I T H</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口が増えるのは外国人であっても問題はないのか。

市長	・ 問題ない。
事務局	・ 空き家の問題で困っていることはないか
保健推進 委員会	・ 隣も裏も空き家だが、管理してもらっているため、現在特に困っていることはない。
P T A連 絡協議会	・ 大阪で地震がありブロック塀が倒れ、子どもが犠牲になった経緯から、空き家の塀が危険であったため、市に連絡したところ、市から速やかに空き家の所有者に連絡がつき、撤去してもらった。野生動物が出没すると空き家はすぐに荒れてしまう。
J A女性部	・ 空き家と認識していても、所有者がわからないので誰かに紹介することもできない。
八日市場 事務局	・ マッチングの話があったが、空き家のマッチングに市では力を入れている。
J A女性部	・ 空き家の所有者が申請しないとその制度は利用できないのか。
八日市場 事務局	・ そのとおりである。固定資産税の納税通知書を送付する際に制度のお知らせを同封している。
保健推進 委員会	・ 空き家は管理する人がいないと3年で草だらけになってしまう。何かあっても敷地に入れない。犬や猫のたまり場になるケースもある。
W I T H	・ 例えば、持ち主が分からない空き家が老朽化して危ないといった場合、市が撤去できるなど条例はあるのか。
市長	・ まだ撤去したことはないが、条例は制定した。
保健推進 委員会	・ 空き家を管理する人が匝瑳市におらず、所有者の子どもは知っているが、話しをしても手入れをしてくれない。ブロック塀が半分倒れている状態。子どもたちの通学路でもあるので、できるだけそこを避けて通学している。
市長	・ 単に荒れているからという理由だけではだめだが、本当に危険だという状態であれば代執行してもよいという条例を制定した。代執行すると、新聞に掲載されるようで、香取市で行ったという記事を見たことがある。本当に危険だという時には実行しなくてはならないと考えている。
W I T H	・ まだ代執行をしたことはないとのことだが、条例ができたということは予算計上されているのか。
市長	・ 応急措置の予算は確保してある。代執行の費用は持ち主からもらうということになっている。
母子寡婦 福祉会	・ 若いお母さんが離婚して匝瑳市へ帰ってきた人は、市から援助してもらったら、子どもを保育園に預けて働けば良いと思うが、働かずに遊んでいる人が多いように思う。どのような審査基準を設けているのかと思うときもある。中には本当に困っている人もいるが。
市長	・ 基準に基づいて審査していると思うが、実情を把握することも大事。
母子寡婦 福祉会	・ 母子寡婦福祉会の県の大会への出席を依頼しても母子の関係者は出席してくれる人がいない。

J A女性部 八日市場 市長	<ul style="list-style-type: none"> 保健推進員は様々な場所に出ているから、多くの情報を知っているかもしれないが、今日、懇談会に参加して、色々な団体があることを知った。 その気づきだけでも今回の会は成功したと言えるのではないか。
J A女性部 八日市場 市長 商工会 青年部	<ul style="list-style-type: none"> この後、交わる機会がないから終わってしまう。 商工会からは何かないか 青年部としては、若手が少なくなっている。30代前半が1人、20代は1人もいない状態。人数がいなくて厳しくなっているが、お祭りなどに出席し子どもたちに楽しんでもらいたいと思っている。他の自治体だとゆるキャラのクリアファイルやうちわを作り、市をPRするものが結構あるので匝瑳市も力を入れてもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントやゆるキャラの話が出たが、そこにいる人達に市に愛着を持ってもらいたいという話につながってくると思う。一度離れた人もまた戻ってくるという種にもなるのではないか。先ほど話していた人口減少の件にもつながるが、今、高校生にもアクションを起こしているところである。大学進学で一度外に出る生徒は多いと思う。それはそれで仕方がないが、帰ってきてもらいたいという気持ちを込めて、市に愛着を持ってもらえるような活動に取り組んでいるので御協力を頂ければと思う。
J A女性部 八日市場 市長	<ul style="list-style-type: none"> 後継者がいない。また、農業まつりに出るにあたって、今年は保健所が厳しくて出店が難しいと思った。これ以上厳しくなったら出店を諦めようかとさえ思った。 他の祭でも保健所が厳しくなっているという話を聞く。色々間違いがあつたら困るということかもしれないが、市としても保健所と連携し、喜んで協力してもらえると体制を整えたい。
J A女性部 八日市場	<ul style="list-style-type: none"> 団体の活動の課題としては、後継者がいない。高齢者ばかりになっている。若い人が入ってきてくれない。働いているから難しいとか、農家の人も入ってくれない。女性部もなくなってしまいそう。
J A青年部 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 人はいるが、お金にならないし、時間もとられ、知らない人と活動しても…という人が多い。 会議に出席している役員の皆さんがイベントに参加されているのは、楽しいからか。
J A女性部 三栄	<ul style="list-style-type: none"> 大変なこともあるけど、楽しい。ただ、楽しいということを若い人に上手く伝えられていない。誘ってはいるが、断られている。
J A女性部 八日市場	<ul style="list-style-type: none"> スポーツでもそうだが、若い人はスポーツ自体は好きだが、団体ではやりたくないと思っている。好きなときに個人でやりたいと思う人が多い。役員が回ってくるのが嫌だとも思っているのではないか。
みどり平 工業団地	<ul style="list-style-type: none"> 商工会の理事もやっているが同じ状況で、複数の役職を兼任もしている状態。

<p>J A女性部 八日市場 交通安全協 会婦人部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ人ばかりがこのような委員になっていて、これで市は良くなっていくのかという疑問もある。 ・ 交通安全協会は、全体で約 210 名。婦人部は 68 名で県指導員は 62 名程度。だいたい出てくる人は同じ人で、若い女性の方は勤めているので中々参加は難しい。忙しいという理由で会議も出席はするが途中退出したり、行事には出られないという方が多い。保育園や小中学校での交通安全教室、広報活動、キャンペーン活動などやっているが、参加できる人が高齢化している。若い世代は名前だけの人も多いという現状。
<p>保健推進 員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ カーブミラーをせっかく設置しているのに、汚れていて役割を果たしていない。自分が交通安全協会に参加していた時は、年に 1 回か 2 回ほど清掃していたが、現在はそのような活動をしていないのではないかと。
<p>交通安全協 会婦人部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前はそのような清掃活動もしていたが、高いところに設置されていて危険だということでもなくなってしまった。
<p>保健推進 員会 市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃をする側の人は、高いから危ないということだが、そこを通る人は交通面で危険である。 ・ 市役所に交通安全協会の窓口があるので、そのような意見があったと伝えておく。交通安全の施設について点検するように伝える。
<p>保健推進 員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の住んでいる地区で誰が安全協会に加入しているかもわからない。だから、カーブミラーの件も今日この場で話をさせてもらった。 <p>他の自治体で O157 が出たりなどあり、匝瑳市でも独居高齢者の方に作っていたお弁当づくりをやめましょうという話になった。お年寄りの方は楽しみにしてくれているが、2 時間以内にその場で食べてもらわなければならない。今までは参加できない人には持って行っていた。今年から弁当を作るに当たり、便検査を行うことになり、その検査代を補助してもらえないかという話も出た。気候も温かくなってきているので、こうした新たな取組を行っている。</p>
<p>J A青年部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泥棒などの防犯対策をお願いしたい。また、農家をしているので、普通に出せないごみ対策。具体的には、エンジンオイルや大きい粗大ごみ、農薬など。農薬は農協で回収してくれてはいるが、年に数回のみとなっている。市でも取扱ってもらい、捨てられる回数が 1 回でも増えたら楽になるので嬉しい。廃棄の日までストックしている状況である。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当の部署が来ていないので適正な回答ができなかった部分があったかもしれないが、頂いた意見は市役所内で情報共有をしっかりとしていきたいと思う。貴重な意見を頂き、今後検討していく中で充分対処していきたいと思う。
<p>5. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>	